



家庭の平和、健康は  
ヘルス・プラスから

Tel/Fax: (11) 3271-6304

DIRETOR PRESIDENTE  
RAUL M. TAKAKI  
JORNALISTA RESPONSÁVEL  
TAKAO MIYAGUI

Rua da Glória, 332 - CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Tel. (11) 3340-6060 - www.nikkeyshimbun.com.br

# ニッケイ新聞

NIKKY SHIMBUN

SÃO PAULO, SEXTA-FEIRA, 10 DE JANEIRO DE 2014



R\$ 3,30

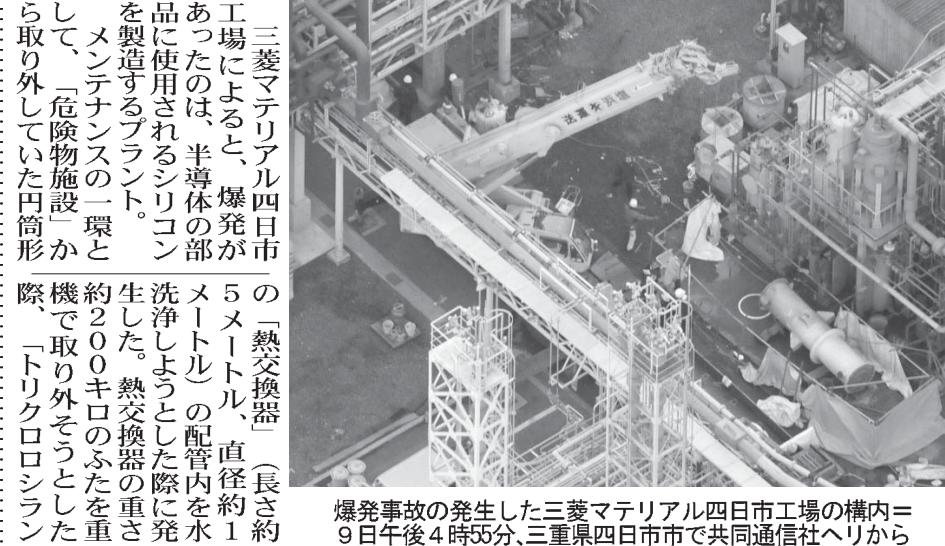
ANO XVII - Nº 3928

(共同) 降圧剤ディオ  
パンの臨床研究問題で  
厚生労働省は9日、ディ  
オバーンの広告に利  
用していたとして、販売  
事態となつた。  
厚生労働省は「ノ社側が  
法違反（誇大広告）容疑  
の告発状を東京地検に提  
出した。海外の著名な医  
元の製薬会社ノバルテ  
スファーマに対する葉書き  
をデイオバーンの広告に利  
用していたとして、販売  
事態となつた。

学誌に掲載された論文が  
相次いで撤回され、日本  
の臨床研究への信頼を失  
墜させた不祥事は、広告  
をめぐつて製薬会社の刑  
をいためたとして、販売  
事態となつた。  
厚生労働省によると、誇  
大広告容疑での告発は  
過去に例がない。  
厚生労働省は資料提出を  
告発容疑は、東京慈恵  
医科大学と京都府立医大で  
実施された臨床研究の結果  
を2011年から12年  
にかけてディオバーンの広  
告に利用した行為が、誇  
大広告に当たる疑いがあ  
るとしている。広告に関  
するところは個人を

## 降圧剤問題で刑事告発 ノバルテイス誇大広告

# 四日市で工場爆発、5人死亡



爆発事故の発生した三菱マテリアル四日市工場の構内=9日午後4時55分、三重県四日市市で共同通信社へりから

三重マテリアル四日市工場による、爆発が起きたのは、半導体の部品を使用されるシリコンを製造するプラント。メンテナンスの一環として、「危険物施設から取り外そうとした」

同社は、シリコーン精製中に熱交換器の配管内に固着したトリクロロシラニ類などを分解し洗浄するため、昨年11月から配管内に水を含んだ窒素を流し込んでいた。5人は爆風で死亡したとみられる。

三菱マテリアル四日市工場の猿渡陽也工場長は

9日夜、記者会見し「尊

い命が失われてしまつたことは誠に申し訳な

い」と謝罪した。総務省消防

庁は9日、原因調査に派

め職員7人を現地に派遣。三重県警は業務上過

原定従会長(70)を充

て、元副会長の東レの榎

弘昌会長(76)の後任と

して告発対象に加えた。

ディオバーンは国内で年

間1千億円超を売り上げ

てきたノ社の看板薬。

ノ社はこれまでも「研

究内容に不正があると

は認識していないかった」と主張してきた。

厚生労働省によると、誇

大広告に該当する恐れ

がある」と指摘した。

## 次期会長に榎原氏

経団連 東レ会長、6月に就任

（共同）経団連は9

日、6月で退任する米倉

氏も経団連からの就任要

請を受諾。14日の会

長・副会長会議で内定

長に就くのは2代連続と

予定せず、被疑者不詳と

して告発対象に加えた。

ディオバーンは年内で年

間1千億円超を売り上げ

てきたノ社の看板薬。

ノ社はこれまで「研

究内容に不正があると

は認識していないかった」と主張してきた。

厚生労働省によると、誇

大広告に該当する恐れ

がある」と指摘した。

## 同級生宅に一時潜伏か

杉本逃走直後、スクーターに同乗

たあとで、逃走経路を調

べるとともに、同級生か

ら事情を聴いている。

杉本容疑者は逃走中に

友人の携帯電話を持ち

ていたことも判明。友人

の車に乗っていた疑いも

ある。この車に乗っていた

情報から居場所を特定

し、9日未明から横浜市

泉区や隣接する瀬谷区

を集中的に捜索してい

た。

人が逃走を手助けしてい

た。

その他の記事

医療機関の告白記事や医

院の取材など

が中心となつて企画立案

しているという。

厚労省の検討委員会は

マーケティング本部が

担当し、循環器系の薬を

ループがあつた。広告記

文では同社の所属が伏せ

ていた。

ノ社はこれらの論文を

紹介していたが、データ操作があつたと

いる。

これが原因で、

大手出版社が

誤報を出

した。

これが原因で、

誤報を出



# 新潟常習者地区がレストラン街に!

## ペルー、アフリカ、中東ー サンパウロの各国移民が郷土料理を

麻薬常習者の集住地区が、郷土料理街に変身…? 聖市中心部スレブブリカ地区には、麻薬常習者の「巣窟」、クラコランジアと呼ばれるエリアがある。軍警による一斉取締りが2年前に行われたもの、麻薬常習者は後を絶たず、地域の通りに溢れたまままだ言っている。だが、その場所が昨今、国外からの移民が職を変え、郷土料理を振舞う場所に変わっているようだ。



「リコンシット」の店主エドガーサン

スレブブリカ区アウローラ通り

その近く、バロン・デ・リメイラ並木通りに

はアフリカ料理レストラン

「Biyou」、「Z」が

ある。カムルーン人のメ

ラニットさん(43)が

始めたお店で、祖国の郷

土料理にとどまらず、周

辺国コントン、アンゴラ、セネガル、ナイジェリア

のエッセンスが入ったメ

ニューも出す。

メラニットさんの場

合、ブラジルに来るのは

でも1年振り返る企画

を組んでいたが、その中

「ブラジルには、アフリ

カ料理のお店がないと気

づいた。アフリカ系の子

先祖も、たくさんいる国なん

だから、ブラジル人は、

アフリカ系の住民が多

い地区だが、店に来る大

人を、ペルーの取締り

が、レストランを開くこ

と決めた。それが、レ

スレブブリカ区アウローラ通り

にある「リコンシット」

の始まりだ。

もしそこから人の出入

りがなければ、誰にも氣

づかれないほどの控えめ

な佇まい。小さな階段を

下りて中にいると、カラ

フルな布の飾り、正面の

テレビから流れる異国の

映像が醸す、エキゾチックな雰囲気を包みれる。

メインメニューはセビ

ーチェ(魚介類のマリ

ネ)、ペルー風チャーハ

ンのアロース、チャウ

リソットなど。

チア(魚介類のマリ









